

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 1 子どもの生活状況

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	1 重-3	<p>児童館の再編成と機能の充実</p> <p>施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を変化・充実させ、魅力ある児童館へ再編成していく。また、子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。</p> <p>(再掲)1-2-2、4-1-1、4-4</p>	継続	児童青少年課	継続	21・22年度ひばりが丘・下保谷児童館の建設に伴い、児童館の再編成についての庁内プロジェクトによる検討結果報告書を取りまとめた。西原北児童館において経年劣化に伴う施設の大規模改修にあわせ、年長児童への相談対応等のための機能の整備を実施した。
0703	2 重-3	<p>青少年センター機能の整備</p> <p>児童館に再編成の中で、中高生や若者の居場所施設としての青少年センター機能を付加した特化型児童館を整備していく。青少年自身の企画・運営への参加を検討するとともに、青少年の学校外活動の情報収集、情報提供、子どもに関する相談活動等を行い、インターネット等を利用して活動の情報を自由に提供する</p>	新規	児童青少年課	継続	児童館の再編成についての庁内プロジェクトによる検討結果報告書をまとめた。西原北児童館において経年劣化に伴う施設の大規模改修にあわせ、年長児童への相談対応等のための機能の整備を実施した。
0704	3	<p>家庭教育支援事業の推進</p> <p>親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、父親が参画可能な事業展開を検討する。</p> <p>(再掲)3-2-2</p>	新規	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型保育園や児童館と連携し子育て講座や子育て情報の提供を行った。 ・住吉会館内の子育てサークル活動室の貸し出しを行い子育てグループの活動場所の提供を行った。 ・ピッコロ広場に加えのどか広場が開設し、土、日を開所し、年間の父親の来館者延べ数はのどか広場907人ピッコロ広場846人だった。
0702		保育課		継続	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座等を通して地域の子育て家庭の支援を行った。	
0703		児童青少年課		検討・実施	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを図った。	
1603		公民館		継続	「紙ヒコーキを飛ばそう」「エイサーを踊ろう」を実施し、親子で地域の活動に参加する機会を提供した。「紙ヒコーキ」は、すべてが父子親子であった。	

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 2 子どもの権利

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	19.7月組 織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0701	1 重-1	子どもの権利に関する条例の策定 子どもの視点に立ち、子ども一人ひとりの最善の 生き方を地域で実現することの基本となる「子ども の権利条例」を策定する。 条例づくりのため、市民参加による検討委員会の 設置を検討する。	新規	子育て支援 課	実施	西東京市条例策定委員会で引 き続き検討・条例骨子案の作 成。
0701	2	子どもの権利擁護のための啓発と広報の充実 市報やホームページ等を通じて、子どもの権利擁 護についての啓発を行う。 子どもが参加できる機会や時期をとらえ、子どもの 権利を認める地域社会をつくるために、子どもの 権利条約等の啓発活動を充実する。 子どもの権利条約について、職員・教員や市民へ の研修会の開催、情報提供及び広報活動に努め る。	継続	子育て支援 課	実施	市民まつりにおいて、子どもの権 利条約について情報提供及び広 報活動を実施。
1503				教育指導課	継続	・子どもの権利条約に関する小 冊子を小・中学校全校に配布。
0401	3 (再掲)4-3	人としての権利を尊重する教育の推進 外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認 め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活 動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や 学校で推進する。	継続	生活文化課	継続	「人権の花」「人権メッセージ」 「人権作文」など小中学生を対象 とした人権啓発活動の実施(人 権擁護委員との共催)
1503				教育指導課	継続	・総合的な学習の時間や道徳教 育を中心に全教育活動を通じ て、人権・障害者理解への取組 みを実施。 ・都の人権教育推進校(中原小、 けやき小)において、成果を発 表。

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 3 子どもの救済

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組 織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0701	1 重-1	<p>オンブズパーソン制度(いじめなどからの子ども救出システム)の検討</p> <p>いじめや不登校など、何らかの問題に遭遇した子どもたちを早期に発見し、その原因を保護者や教職員と一緒に考えるシステムの強化を検討する。また、子どもに対する活動助成についても検討する。</p> <p>子どもへの権利侵害を防ぎ、権利侵害があった場合に実態の調査・勧告の権限を持って速やかに対応するため、子ども自身が相談できる子ども固有のオンブズパーソン制度を検討する。</p>	新規	子育て支援課	実施	西東京市子ども福祉審議会中間答申を受け、子どもの権利に関する条例策定委員会のなかで検討していく。
0704	2 重-7	<p>要保護児童対策地域協議会の設置</p> <p>児童相談所、子ども家庭支援センターをはじめ、警察、医療機関、保健所、福祉、教育等の関係機関や民生委員・児童委員、地域の市民団体等がネットワークを組み、虐待される子どもの救済に迅速・有効に行動できるよう、児童福祉法に規定される要保護児童対策地域協議会を設置する。</p>	継続 新規	子ども家庭支援センター	継続	・代表者会議1回、実務者会議4回、ケース検討会議84回を実施した。
0704	3	<p>虐待・虐待再発防止のための学習機会の検討</p> <p>虐待や虐待の再発を防止するため、親を対象とした学習の機会を検討する。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	子育てに不安を感じている母親のために、臨床心理士をファシリテーターとして親支援連続講座を月1回、全6回実施した。
0704	4	<p>養育家庭・里親制度の推進</p> <p>養育家庭・里親制度の広報・啓発とともに、連携協力を努める。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	養育家庭体験発表会を開催し、参加者は33人であった。東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布
1503	5	<p>スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化</p> <p>中学校には、スクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置ができるように検討をする。また、現在は、小学校に心理カウンセラーを派遣している学校訪問教育相談員との連携を強化し、いじめや不登校等の問題に対応する。</p> <p>(再掲)4-3</p>	継続	教育指導課	継続	<p>スクールカウンセラーが配置されていない小学校17校に対し教育相談センターの心理カウンセラーを派遣し、児童・保護者・教員等の相談に応じた。</p> <p>定期的な連絡会において、子ども・保護者・学校が抱える問題・課題について情報交換を行い、連携の強化を図った。</p>
			0701	継続	児童青少年課	継続

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 1 子どもの権利の尊重

1 - 1 - 3 子どもの救済

				19.7月組 織改正	20年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1503	6	スキップ教室(適応指導教室)の充実 いじめや情緒的混乱、学業不振等により不登校 になっている子どものためのスキップ教室(適応 指導教室)を充実し、学習支援や学校生活復帰 への援助を行う。	継続	教育指導課	継続	教科指導をはじめ、調理実習や 校外活動等の体験学習の充実 を図った。主任会議(月1回)、合 同全体会議(年2回)を開催し、 両教室と教育相談センターとの 情報交換、課題についての検討 を行った。在籍校とは、担任連絡 会のほか、必要に応じ、担任教 諭等と連絡調整を行った。
0704	7	子ども自身からの相談に対応できる相談システム の検討 子どもが相談しやすい方法を探るため、子ども自 身が相談員になるだけでなく、電話・インターネット で相談できる体制を検討する。相談方法を子ども に告知するだけでなく、インターネットなどを実際 に使ってみる模擬体験や、相談に参加する子ども の判断力、コミュニケーション力を育成するための 研修等の実施を検討する。相談事業は、(仮称)こ どもの総合支援センターで実施する。	継続	子ども家庭 支援セン ター	継続 検討	住吉会館内に子どもの総合支援 センターが開設した。
1999				関係各課		
0701	8	子ども自身が身を守るための学習プログラム 犯罪の被害者にならないように、子ども自身が暴 力から自分の身を守ることを学習するプログラムの 実施を推進する。	継続	子育て支援 課	実施	西東京市子ども福祉審議会中間 答申を受け、子どもの権利に関 する条例策定委員会のなかで検 討していく。
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容

0703	1 重-2	子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進 児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討する。また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などの実施を検討する。 (再掲)1-2-2	継続・新規	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を毎年実施している。 ミュージック・パーティ・イン西東京・ダンスインターハイなどへの継続的支援を実施している。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。
0401				生活文化課	検討	各指定管理者と平成21年度から指定管理者の再指定に向けた協議の中で、新年度より各指定管理者の提案事業が実施される。 ただし、対象者等の内容については協議を行っていく。
0802				みどり公園課	検討	課内で検討
0701				子育て支援課	実施	子どもの意見を聴く場の検討。 子どもの権利に関する条例の策定をすすめる中で、子ども参加の手法や企画を検討していく。
0703	2 重-2	児童館の親子で参加できる行事や企画の充実 児童館事業として、親子で参加できる行事や企画を今後も継続し、充実する。	継続	児童青少年課	継続	ひろば事業や幼児親子対象のミニ運動会・いも掘・父親と参加するイベントなどを開催した。
0703	3 重-2	子ども調査の推進 子どもたちがいつも使う施設について、利用のしやすさや事業内容等を定期的に評価し、改善提案等をしていく子ども調査の継続と意見反映システムの構築を検討する。	新規	児童青少年課	検討	児童館のあり方・再編成検討結果報告をまとめ、そのなかで特化型児童館において、地域の青少年の出会いや交流の場作りの企画・運営を子ども参加で推進することとした。
1604				図書館	検討	調査は未実施 「子ども読書活動推進計画」の検証を行い、中間報告書を作成。 小中学生対象の調査について検討していく
2001				(文化・スポーツ振興財団)		

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0411	4重-11	<p>防犯対策の充実</p> <p>市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロールの実施、民生委員注1)・児童委員注2)、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。また、不審者情報のネットワークづくりをすすめる。</p> <p>(再掲)4-4</p>	継続	危機管理室(警察)	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・GW、全国地域安全運動期間中等における合同パトロールの実施。 ・市内の小学校における地域安全マップ作製の指導。 ・自主防犯活動団体のリーダー連絡会の開催。 ・犯罪発生時における自主防犯活動団体などに対するパトロール強化依頼の実施。 ・下校時間帯における職員防犯パトロールの実施。
				児童青少年課	継続	<p>青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」への活動支援を実施。危機管理室との連携を図った。</p>
				教育指導課	継続	<p>市内全小学校の安全連絡会において、地域支援による安全確保を図った。</p>
				情報推進課		
				児童青少年課	継続	<p>育成会及び小学校PTAが主体となって「子ども110番ピーポーくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。</p>
0703	5重-11	<p>子どもの緊急避難場所を確保する事業の推進</p> <p>子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ピーポーくんの家注3))を推進する。</p> <p>(再掲)4-4</p>	継続	児童青少年課	継続	<p>育成会及び小学校PTAが主体となって「子ども110番ピーポーくんの家」協力者の更新と新規協力者の発掘への支援を行った。</p>

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	6	<p>プレイリーダーの養成と活用</p> <p>プレイリーダーの育成事業を検討・実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー（遊びの支援者）派遣事業を検討していく。また、中学生対象の遊びの事業を検討する。</p> <p>(再掲)1-2-2、3-2-2-(1)、4-4</p>	継続	児童青少年課	継続	親子を対象とした「プレイリーダー養成講座」を実施した。また、小学校の校庭などを活用した出前児童館や育成会と協力しデイキャンプなどを実施しリーダー養成に努めた。
0701				子育て支援課		
0402	7	<p>農業体験の拡充</p> <p>市内農業者の協力により、土とふれあいながら、農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。</p> <p>(再掲)1-2-2</p>	継続	産業振興課	実施	<p>平成20年4月19日(土)小麦畑の草取りの作業と都市農業のお話。</p> <p>平成20年6月14日(土)麦刈りの作業とむかしの農業についてのお話。</p> <p>平成20年9月6日(土)小麦の製粉の作業とうどん作りのお話。</p> <p>平成20年10月6日(土)うどん作りの作業とうどんを食する。</p> <p>平成20年11月15日(土)麦わらで工作。</p>
0703	8	<p>青少年育成会への支援の充実</p> <p>青少年育成会の活動支援とともに、相互の交流活動等を支援することで、子ども同士や親も含めた地域社会との関わりをより広く体験できるようにする。</p>	継続	児童青少年課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成会への支援を継続して実施した。 ・青少年育成会連絡会全体会事業「歩け歩け会」への支援を継続実施。
0701	9	<p>地域の子育て協議会設置の検討</p> <p>子育て家庭同士、さらには地域で子育てに関心を持っている人々をつなぐ「子育てグループの集い」開催を検討する。</p>	継続	子育て支援課	実施	青少年問題協議会と青少年育成会の意見交換会の実施
0101		<p>子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実</p> <p>「子育てひろば注2）」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。</p> <p>子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境充実のための支援を検討する。</p> <p>(再掲)3-2-1</p>		企画政策課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを整備した。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を構築した。
0702				保育課	継続	<p>基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場を提供した。また、保健師や栄養士のコメントを載せた情報誌を発行した。</p>

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0704	10		継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・人形劇や季節の歌の催しを9回実施し、延300人が参加した。 ・4月にオープンした住吉会館の子育てグループ活動室を延107グループが利用し、活動した。
				児童青少年課	継続	<p>市内全児童館において子育て支援事業を実施。単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業を実施した。</p> <p>北原学童クラブに引き続き、谷戸・向台・向台第二学童クラブの事業運営を地域で子育て支援に係わる事業を展開するNPOに業務委託を行った。</p>
				社会福祉協議会	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・活動拠点における子育てグループの支援を実施。 ・子育てグループに対し、活動費の助成を行った。 ・イベントの一つのブースとして、昔遊びを通して世代間交流を図った。
0703						
2002						

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-1 子どもを支える地域のシステム

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0402	11	地域通貨の活用の検討 子どもたちが地域でのボランティア活動などを通じて社会参加できる仕組みとして、地域通貨の活用を検討する。	後期	産業振興課	後期	
0701			後期	子育て支援課	後期	
1601	12	地域の人材発掘・活用の推進 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、主婦や退職者をはじめとする、さまざまな立場の市民が、自分の経験や知識を生かして子どもたちに、技や学びを伝えられるような情報提供や機会づくりを促進する。 (再掲)3-2-1、4-3	継続	社会教育課	実施	人材(講師・指導者)情報提供事業の中で、市内にお住まいの方で知識・経験・技術を地域やサークル活動等に役立てたい方を、生涯学習指導者として登録を受付て、事業を実施した。
2002				社会福祉協議会	実施	・東京都教育庁の委託事業により、都立保谷高校における教育支援コーディネートを行った。 ・都立田無高校、都立武蔵高校の奉仕活動教科に協力した。
2003				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催(継続) 東伏見教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・国語 その他教室 小学生習字 西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学・理科 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催(継続)
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容

0401	1 重-2	子どもの公共施設利用促進の方法の検討 公共施設や事業の企画・運営・利用への子どもの参加や、年齢に応じた子どもだけの利用を進める。 また、利用料の減免、利用申込資格など、子どもが利用しやすい運営を検討する。	新規	生活文化課	検討	各指定管理者と平成21年度から指定管理者の再指定に向けた協議の中で、新年度より各指定管理者の提案事業が実施される。 ただし、対象者等の内容については協議を行っていく。
0703				児童青少年課	検討	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を毎年実施している。 児童館のあり方・再編成検討結果報告をまとめ、そのなかで特化型児童館において、地域の青少年の出会いや交流の場作りの企画・運営を子ども参加で推進した。
1603				公民館	検討	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料。
1999				関係各課		
0703	2 重-2	子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進 児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討する。 また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などの実施を検討する。 (再掲)1-2-1	継続・新規	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を毎年実施している。 ミュージック・パーティ・イン西東京・ダンスインターハイなどへの継続的支援を実施している。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。
0401				生活文化課	検討	各指定管理者と平成21年度から指定管理者の再指定に向けた協議の中で、新年度より各指定管理者の提案事業が実施される。 ただし、対象者等の内容については協議を行っていく。
0802				みどり公園課	検討	課内で検討
0701				子育て支援課	実施	子どもの意見を聴く場の検討。 子どもの権利に関する条例の策定をすすめる中で、子ども参加の手法や企画を検討していく。

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

				19.7月組織改正	20年度		
所管課番号	番号	施策・事業名及び内容		継続/新規	担当課	実績	具体的な取り組み内容
0802	3 重-2	子ども参加型ですすめる遊び場づくりの検討 公園等の遊び場の設置・改善を子どもが企画等を中心に行う子ども参加型ですすめ、子どもが遊びたくなるような遊び場を地域につくる。		後期	みどり公園課		
0701				後期	子育て支援課	実施	子どもの権利に関する条例策定委員会において、子ども参加の手法について調査検討
0703	4 重-2	子ども参画による生涯学習事業の推進 子どもを対象とする生涯学習事業については企画・運営への子ども自身の参画を児童館等と連携し、検討を図る。		継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を毎年実施している。
1603					公民館	継続	企画段階からの児童参画には至っていないが、実施時に参加者の意向を汲み取る努力はしている。
0703	5 重-3	児童館の再編成と機能の充実 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、魅力ある児童館へ再編成していく。また、子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 (再掲)1-2-1、4-1-1、4-4		継続	児童青少年課	継続	21・22年度ひばりが丘・下保谷児童館の建設に伴い、児童館の再編成についての庁内プロジェクトによる検討結果報告書を取りまとめた。西原北児童館において経年劣化に伴う施設の大規模改修にあわせ、年長児童への相談対応等のための機能の整備を実施した。
0703	6 重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」の動向を視野に入れながら検討・実施します。実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレリーダー（遊びの支援者）を配置することを検討していく。 (再掲)3-2-2-(2)、4-4		新規	児童青少年課	継続	小学校の校庭などを活用した出前児童館や育成会と協力しデイキャンプなどを実施した。放課後子どもプランにおける放課後子ども教室推進事業については、教育委員会部局において検討。
1601					社会教育課		
0703	7	屋外の遊び場の充実 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、必要に応じてプレリーダーの派遣を検討する。 (再掲)4-4		新規	児童青少年課	継続	親子を対象とした「プレリーダー養成講座」を近接する都立公園で実施した。また、小学校の校庭などを活用した出前児童館や育成会と協力しデイキャンプなどを実施しリーダー養成に努めた。
0802					みどり公園課	検討	課内で検討

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	8	プレイリーダーの養成と活用 プレイリーダーの育成事業を検討・実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー（遊びの支援者）派遣事業を検討していく。また、中学生対象の遊びの事業を検討する。 (再掲)1-2-1、3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	親子を対象とした「プレイリーダー養成講座」を実施した。また、小学校の校庭などを活用した出前児童館や育成会と協力しデイキャンプなどを実施しリーダー養成に努めた。
0701				子育て支援課		
0701	9	中学校の余裕教室を活用した「自習室」事業の検討 放課後や休日の中学校の教室を活用して自習室やグループ学習室への開放事業、地域のボランティアと協力した中学生の自主的活動などを検討する。	新規	子育て支援課		
1503				教育指導課		
1602	10	屋内の居場所の充実 総合体育館やスポーツセンターの個人開放事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	スポーツセンター個人開放事業（バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球） 総合体育館個人開放事業（バスケットボール・バドミントン・卓球） きらっと個人開放事業（バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球） 上記の事業は指定管理者が実施。
2001				(文化・スポーツ振興財団)		
0402	11	各地域に小さい拠点(居場所)づくりの推進 市内の店舗や民家等の一角を提供してもらい、談話コーナーやパソコンの設置等により、気楽に情報検索や語らえる場づくりを検討する。子どもに理解がある地域協力者を募り、家や部屋開放など、地域の中に居場所づくりをすすめる。	後期	産業振興課	継続	街なかサロン事業(市内の空き店舗を活用し市民と商業者の交流の場としている)
0701				子育て支援課	後期	
0703	12	出前児童館の充実 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 (再掲)4-1-1	継続	児童青少年課	継続	児童館から少し離れた地域の小学校などに出向いて集団遊び等出前児童館を実施した。また、単設の学童クラブ施設を利用した乳幼児親子を対象とした出前事業を実施した。
0401	13	音楽練習室等活用の推進 音楽練習室の子ども向け利用を促進するとともに、学校の音楽室開放等についても検討する。	継続	生活文化課	検討	音楽を練習できる施設の利用率が平均90%超(実績)である。また、その内訳として青少年の利用が約80%となっている。ただし、練習できる施設が希少なため、今後検討する必要がある。

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
1603	13		継続	公民館	継続	駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着しつつある。
1503				教育指導課		
1604	14	図書館の子どもスペースの充実 現在の子どもスペースの拡充、グループで話しながら利用できる場、中高生の図書館利用の推進を検討する。	継続	図書館	実施	保谷駅前図書館に学習室を設置し、中高生の学習支援を行った。 各図書館で中高生の興味や要求に対応できる蔵書を収集。
1605	15	図書館利用者交流会の検討 カウンターで直接、さらには投書での利用者の意見や要望の反映にとどまらず、選書や運営について意見を聞く場づくりを検討する。	後期	図書館		
1604	16	読み聞かせリーダー育成事業の推進 子どもが本に親しみ、読書にいそむきっかけとなる「読み聞かせリーダー」の育成に努める。 (再掲)3-2-2-(1)	継続	図書館	継続実施	フォローアップ講座(2回)を実施各館にて活動していくことを目的に研修を実施した。 9月からおはなし会に参加
0701	17	体験交流型の子ども旅行事業の検討 旅行を通して子ども同士がふれ合い、一緒に行動することで社会体験できる「子ども旅行」の企画を検討する。	後期	子育て支援課	後期	
0402	18	農業体験の拡充(再掲) 1-2-1	継続	産業振興課	実施	平成20年4月19日(土)小麦畑の草取りの作業と都市農業のお話。 平成20年6月14日(土)麦刈りの作業とむかしの農業についてのお話。 平成20年9月6日(土)小麦の製粉の作業とうどん作りのお話。 平成20年10月6日(土)うどん作りの作業とうどんを食す。 平成20年11月15日(土)麦わらで工作。

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容

0401	19	子ども向けの芸術・文化・スポーツの振興 市民まつり、市民文化祭、市民スポーツまつり、地域や社寺のまつり、各種施設の行事など、各種の催しやイベントを通じて、子どもたちが芸術・文化・スポーツなどに親しみ、体験できるよう、子ども向けの企画・運営を充実する。	継続	生活文化課	継続	どんど焼き...ふるさと文化の育成と青少年の健全育成を図る目的で実施。運営主体はボランティア。明保中、保二小、上向台小で実施。参加者約3,740名
1604				図書館	継続	新町児童館との共催おはなし会の継続 新町のお祭りへの会場提供 芝久保公民館まつり・谷戸公民館まつりへの会場提供継続
1603				公民館	継続	・主催講座の実施 「縄文人体験」1回13人 「子ども陶芸教室」7回237人 「エイサーを踊ろう」4回36人 「英語で歌おう、ギッズコーラス」5回126人 「平和を考える講座」1回28人 「谷っ戸子やつてみ隊」7回172人 「簡単クッキング」5回53人 「夏休みわが町探訪ツアー」6回106人 「自然観察バスツアー」1回13人 「採りたての野菜を畑で味わう」2回41人 「青少年ドラム教室」6回43人
2001				(文化・スポーツ振興財団)		
0701				子育て支援課	実施	趣旨について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討
				スポーツ振興課	実施	体育の日に市民スポーツまつりを実施。 秋に少年野球大会、少年サッカー大会を実施。 9月に小学生ドッチボール交流会、2月に小学生ドッチボール大会を実施。 7月に少年サッカー教室、11月に少年野球教室を実施。(指定管理者) その他各種教室を通年で実施。(指定管理者)

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0401				社会教育課	実施	地域生涯学習事業の中で、子どもたちが参加できる文化・スポーツ事業を実施した。
2002	20	地域活動体験の拡充 青少年育成会等を通じて、子どもたちが地域の環境美化や福祉等のボランティア活動に参加できる機会を拡充する。 社会福祉協議会や地域の人材等と連携することにより、児童・生徒が主体的に取り組むボランティア活動を行い、人と関わる体験を深め、自主性・自立性を高める。	継続	社会福祉協議会	実施	・市が募集する子どもたちが描いた環境ポスターを、社協が組織化したふれあいのまちづくり住民懇談会の世話人の協力を得て、市内各所へ掲示した。 ・夏！体験ボランティアを実施した。 ・「ウォークでエコ西東京2009」を実施し、子どもたちが美化活動に参加できる機会を提供した。
0701				児童青少年課		
1603	21	ものづくり体験の拡充 公民館での子ども向け事業に、子どもたちがものづくりを体験できる企画を拡充する。	継続	公民館	継続	・主催講座の実施 「縄文人体験」1回13人 「子ども陶芸教室」7回237人 「谷っ戸子やつてみ隊」4回102人 「紙ヒコーキづくり」1回34人
0401	22	各国の子どもが集える事業の検討 参加者の企画参加による、留学生と高校、大学、社会人を対象とする「多文化交流キャンプ」の検討と宿泊型キャンプを通じた国際理解の推進を図る。 地域の人々と各国の子どもたちや子育て家庭が集える祭り事業などを検討する。	後期	生活文化課	未実施	
0701			後期	子育て支援課	後期	

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 2 集う・遊ぶ・学ぶ

				19.7月組 織改正	20年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0401	23	青少年海外派遣事業の検討 青少年が世界に目を向け国際理解が進むように、 青少年海外派遣事業を検討する。	後期	生活文化課	情報収 集	派遣先や交流のあり方について 各方面から情報収集をはじめ た。
0701			後期	子育て支援 課	後期	
0802	24	身近にボール遊びのできる場所の検討 身近にある公園や広場などが子どもにとって魅力 的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルな ど、気軽にできるスポーツの場の設置を検討す る。 (再掲)4-4	継続	みどり公園 課	検討	平成21年度に整備を行う「北宮/ 脇公園」及び「(仮称)芝久保町 三丁目公園」への設置につい て、市民参加による公園整備懇 談会を開催し検討を行った。
1602				スポーツ振 興課	実施	健康広場個人開放事業(指定管 理者)
0302	25	おとな利用が中心となる施設に子どもの遊び場併 設の検討 おとな利用が中心となる公共施設に、子どもの遊 び場の併設を検討する。	後期	管財課	検討	庁舎内の空きスペースの検討
0401			後期	生活文化課		
1603			後期	公民館		
0104	26	遊び場等の利用手続きの簡素化と予約端末設置 の推進 遊び場等の利用手続きの簡素化や、インターネット 予約システムの積極的な活用について検 討する。	継続	情報推進課	継続	・公共施設予約システムのリー スアップに伴うバージョンアップ ・エコプラザ西東京、保谷駅前公 民館の開設に伴うロビー端末機 の新設・移設(設置場所合計 19ヶ所)
1999			継続	関係各課		
1602	27	「総合型地域スポーツクラブ注1)」事業の推進 子どもたちが放課後や休日に、体育館や校庭でス ポーツを楽しめるよう、「総合型地域スポーツクラ ブ」事業を推進する。	継続	スポーツ振 興課	継続	総合型地域スポーツクラブの普 及イベントの開催や総合型地域 スポーツクラブ自体の知名度向 上を目的としたパンフレットの発 行や配布などを通じて、広報活 動の推進

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 3 子どもと情報

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容

1603	1 重-2	子ども参画による広報紙づくりの検討 公民館、図書館などの広報紙の取材や紙面づくりへの子ども参加を検討する。	後期	子育て支援課	後期	
0701			後期	公民館		
1604			後期	図書館		
0103	2 重-5	市報や市のホームページの子ども向け情報の充実 子どもにとって読みやすい市報づくりと子ども向け情報の充実、さらには市のホームページの「キッズページ」を拡充する。	継続	秘書広報課	継続	市報については、文章だけではなく、事業写真やイラスト等を使い子どもたちに目に付くような紙面を心がけた。 ホームページでは、キッズページに「中高生向けコーナー」を開設し、キッズページのトップページにバナーでボタンを設置した。また、夏休み時期には「夏休み子ども向けイベント情報」という子どもが参加できるイベント情報を集約したページを掲載したり、トップページ「イベント情報」の子どもも参加できる事業には「お子さんにおすすめ」というアイコンをつけるなど、情報を見つけやすくする工夫をした。
1603				公民館	継続	「公民館だより」8月号(第87号)に、若者による『今 平和かな?』座談会の記事を掲載
1604				図書館		
0701				子育て支援課	継続	基となる「子ども参加」について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討

子育て支援計画（平成19年度～21年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1 - 2 子ども自身の参画への支援

1 - 2 - 3 子どもと情報

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	19.7月組織改正	20年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0103	3	子ども向け情報提供方法の検討 西東京市のホームページ等とリンクした子ども向けホームページの充実や、子どもへの広報を拡充する。 インターネット等で子ども向け情報を子どもたちが収集しやすいように、学校など子どもの身近な場所にパソコンを設置するように努める。 地域情報を学校に提供するとともに、各学校内に子ども情報掲示板を設置する。	継続	秘書広報課		ホームページでは、夏休み時期に「夏休み子ども向けイベント情報」という子どもが参加できるイベント情報を集約したページを掲載したり、トップページ「イベント情報」の子どもも参加できる事業には「お子さんにおすすめ」というアイコンをつけるなど、情報を見つけやすくする工夫をした。
1501				教育企画課	継続	小・中学校の児童・生徒向けの広報紙を発行するよう継続して予算化し、市立学校の1年間の取組を掲載した「西東京の教育32号」を3月15日に発行した。
1503				教育指導課	情報収集実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員対象に、ICT活用に関する調査を実施し、活用状況等を把握し、21年3月に「西東京市教育情報化推進計画」を策定した。 ・図書システムのレベルアップを実施したことにより、児童・生徒の調べ学習用機能が充実された。 ・ICTサポーターによる授業支援、特に「情報モラル教育」の推進を積極的に行い、正しい情報活用能力の育成を行った。
0701				子育て支援課	継続	基となる「子ども参加」について、子どもの権利に関する条例策定委員会において調査・検討
1503	4	情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進 教科の学習や総合的な学習の時間でのコンピュータの活用など、多様な情報機器を活用した学習を推進するとともに、子どもの発達に応じたメディアリテラシー（メディア情報を適切に受け取り発信したりする能力）の育成を推進する。 (再掲)4-3	継続	教育指導課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施。 ・メディアリテラシーについては、各学校の実態に応じて修正及び作成。研究指定校の芝久保小でモデルを発表。